

堅調な伸びが続く訪日外国人の飲食支出

2019年9月19日 調査部 佐橋 官
TEL 045-225-2375
E-mail: sahashi@yokohama-ri.co.jp

【要約】

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2018年の訪日外国人旅行者による飲食費は前年比10.5%増の9,783億円（推計値）となり、旅行消費額全体（4兆5,189億円、推計値）の約2割を占める。訪日外国人旅行者による飲食費は2011年の調査開始以来、増加基調をたどっている。

訪日外国人旅行者の飲食費の6割超は、中国、韓国、台湾、香港の東アジア4か国・地域からの旅行者によるものである。訪日外国人旅行者による飲食費を①平均泊数、②1人1泊当たり飲食費、③旅行者数に分解すると、東アジア4か国・地域からの旅行者は相対的に、①平均泊数は短い、②1人1泊当たり飲食費の水準が高く、③旅行者数も多いという特徴を有する。

他方、欧米7か国からの旅行者による飲食費は、訪日外国人旅行者の飲食費の18%程度を占める。欧米7か国からの旅行者の場合は、東アジア4か国・地域からの旅行者に比べて、①平均泊数は長い、②1人1泊当たり飲食費の水準がやや低い。また、③旅行者数は東アジア4か国・地域に比べて少ない（ただし、足元の増加率は東アジア4か国・地域を上回る）。このような国や地域による飲食費の特徴は、休暇に対する考え方や訪日旅行者の所得階層の広さ、旅行目的の違いなどに起因すると考えられる。

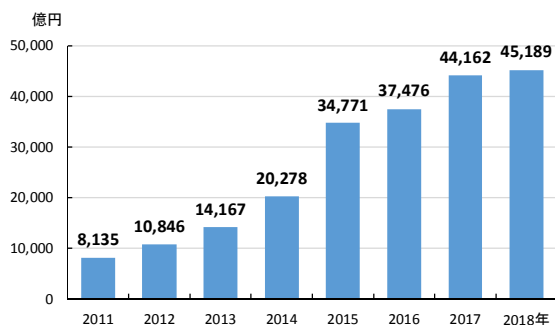
わが国の外食市場の規模に対する外国人飲食費の比率をみると、2018年時点で3.8%に過ぎないが、その値は上昇傾向にある。この先、わが国の人口減少などにより外食市場が伸び悩む可能性がある中、外国人旅行者による飲食費の増加がわが国の外食市場の成長領域になると期待される。

1. 訪日外国人旅行者による旅行消費額は増加基調にあるものの、足元の増勢は鈍化

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2018年の訪日外国人旅行消費額（全国籍・地域、クルーズ客を含む）は4兆5,189億円（推計値）となった（次頁、図表1）。調査が開始された2011年以降、増加基調にある。ただし、足元の増勢は、円安傾向に歯止めがかかっていることもあり、やや鈍化している。

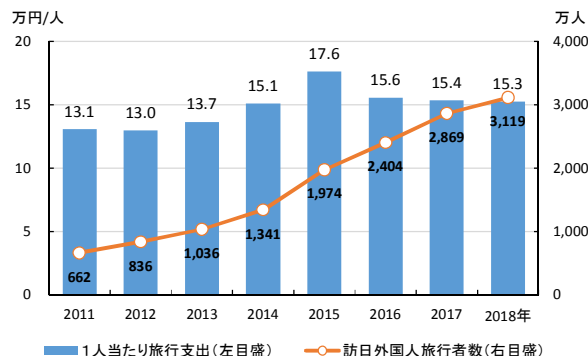
訪日外国人旅行消費額は、1人当たり旅行支出と訪日外国人旅行者数（クルーズ客を含む）の動きに分解できる。2018年の1人当たり旅行支出は前年比0.6%減の153,029円、訪日外国人旅行者数は同8.7%増の3,119万人であった（次頁、図表2）。足元では、1人当たり旅行支出はほぼ横ばいで推移しており、訪日外国人旅行者の増加が訪日外国人旅行消費額の押し上げ要因となっている。

図表1 訪日外国人消費額（全国籍・地域）



注：クルーズ客（船舶観光上陸許可者）による旅行消費額を含む
出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図表2 1人当たり旅行支出と
訪日外国人旅行者数（全国籍・地域）



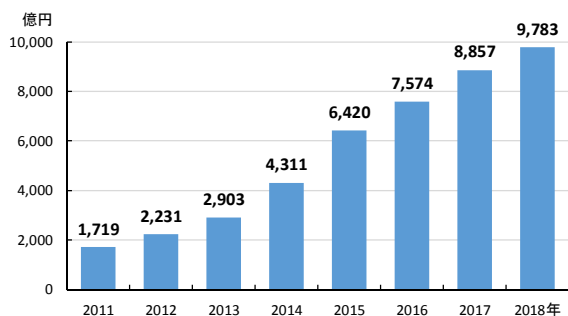
注1：訪日外国人旅行者数は日本政府観光局（JNTO）訪日外客数（クルーズ客（船舶観光上陸許可者）を含む）
出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

2. 訪日外国人旅行者による飲食費は増加傾向

訪日外国人消費額と同様に、訪日外国人旅行者による飲食費（クルーズ客を含む）も増加傾向にある。2018年の飲食費は前年比10.5%増の9,783億円（推計値）となった（図表3）。これは同年の訪日外国人旅行消費額全体（4兆5,189億円、前年比2.3%増）を上回る伸びとなり、また交通費と娯楽等サービス費が前年（2017年）水準を下回る中、飲食費、買物代、宿泊料金は前年水準を上回った。

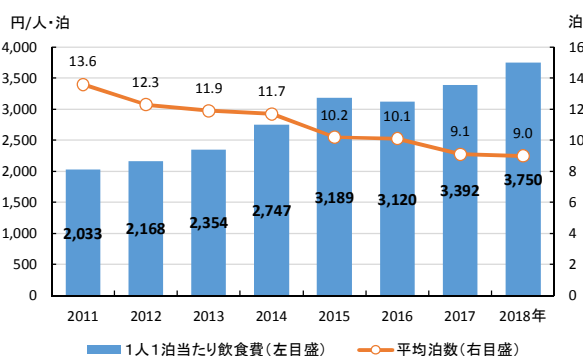
訪日外国人旅行者による飲食費の動きは、①平均泊数、②1人1泊当たり飲食費、③旅行者数（クルーズ客を含む）に分解することができる。2018年の飲食費をこれら3つの要因に分解すると、①平均泊数は前年比横ばいの9.0日、②1人1泊当たり飲食費は前年比9.1%増の3,750円となった（図表4）。また、③訪日外国人旅行者数は、前述のとおり、前年比8.7%増の3,119万人となった。2018年は食事の質の向上や量の拡大、単価の上昇等により、訪日外国人旅行者の1人当たり飲食費（①×②）が増加し、加えて、③外国人旅行者数が増加したことから、訪日外国人旅行者全体の飲食費が押し上げられた。

図表3 訪日外国人旅行者による飲食費
（全国籍・地域）



注：クルーズ客（船舶観光上陸許可を受けた外国人）による飲食費を含む
出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図表4 平均泊数と1人1泊当たり飲食費
（全国・地域）



注1：クルーズ客（船舶観光上陸許可を受けた外国人）による泊数を含む
注2：1人1泊当たり飲食費は浜銀総合研究所が算出
出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」より作成

3. 東アジア4か国・地域からの旅行者の飲食費が約6割を占める

訪日外国人旅行者の国・地域別に飲食費（クルーズ客を除く）の動向をみると、2018年の飲食費が最も多かった外国人旅行者の国籍・地域は中国（2,590億円）で、次いで韓国（1,502億円）、台湾（1,263億円）、香港（799億円）の順となる（図表5）。こうした中国、韓国、台湾、香港の東アジア4か国・地域からの旅行者による飲食費は、外国人旅行者による飲食費の63.2%を占める。

一方、英国、ドイツ、フランス、ロシア、米国、カナダ、オーストラリアの欧米7か国からの旅行者の飲食費の合計は外国人旅行者による飲食費の17.8%を占める。東アジア4か国・地域からの旅行者と比較すると飲食費の合計金額は小さいが、2018年の飲食費は前年比29.4%増と2013年以来の高い伸びとなった。

図表5 国籍・地域別の飲食費（クルーズ客を除く）

単位：億円								
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国籍・地域	1,719	2,231	2,903	4,311	6,420	7,574	8,857	9,738
韓国	280	342	473	528	729	908	1,316	1,502
台湾	219	334	511	715	948	1,109	1,187	1,263
香港	95	143	221	294	540	636	739	799
中国	344	445	427	951	2,113	2,482	2,816	2,590
タイ	48	61	92	186	229	233	230	313
シンガポール	34	42	65	89	120	126	135	180
マレーシア	29	38	65	70	99	109	124	141
インドネシア	-	-	-	35	57	61	81	115
フィリピン	-	-	-	49	73	92	101	142
ベトナム	-	-	-	68	77	127	134	170
インド	19	23	20	42	38	34	42	52
英国	48	64	76	102	120	121	159	182
ドイツ	26	37	41	48	57	68	76	101
フランス	34	49	70	82	89	103	121	173
イタリア	-	-	-	-	51	54	50	86
スペイン	-	-	-	-	40	45	49	74
ロシア	12	18	25	26	19	17	32	41
米国	197	217	315	378	422	511	575	763
カナダ	37	45	63	75	84	99	128	153
オーストラリア	72	82	115	158	199	228	248	319
その他	225	292	325	417	316	410	514	577

単位：億円								
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	938	1,264	1,632	2,488	4,330	5,135	6,058	6,154
欧米7か国	427	512	704	868	990	1,147	1,339	1,732

全国籍・地域の飲食費に占める構成比								
単位：%								
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	54.5%	56.7%	56.2%	57.7%	67.4%	67.8%	68.4%	63.2%
欧米7か国	24.8%	22.9%	24.2%	20.1%	15.4%	15.1%	15.1%	17.8%

飲食費の対前年増減率								
単位：%								
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	-	34.8%	29.1%	52.4%	74.1%	18.6%	18.0%	1.6%
欧米7か国	-	19.9%	37.5%	23.3%	14.1%	15.9%	16.7%	29.4%

注1：インドネシア、フィリピン、ベトナムは2014年から調査対象となった。

注2：イタリア、スペインは2015年から調査対象となった。

注3：「東アジア4国・地域」は、韓国、台湾、香港、中国。

注4：「欧米7か国」は、英国、ドイツ、フランス、ロシア、米国、カナダ、オーストラリア。

注5：「東アジア4国・地域」、「欧米7か国」の値は浜銀総合研究所が算出。

注6：2018年は「クルーズ客（船舶観光上陸許可者）、45億円」を上記の国籍・地域とは別に集計している。

出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」より浜銀総合研究所作成

4. 平均泊数

訪日外国人旅行者の国籍・地域別の飲食費についても、①平均泊数、②1人1泊当たり飲食費、③旅行者数に分解することができる。外国人旅行者の国籍・地域別に①平均泊数（クルーズ客を除く）みると、2018年は韓国4.4日、香港6.3日、台湾6.8日、中国9.7日となり、東アジア4か国・地域からの旅行者の加重平均値は6.7日となった（図表6）。これに対して、欧米諸国からの旅行者はフランス18.4日、ロシア17.2日、ドイツ13.9日、英国13.8日など、いずれも10日以上となっており、欧米7か国からの旅行者の加重平均値は13.9日となった。欧米7か国からの旅行者が東アジア4か国・地域からの旅行者に比べて滞在日数が長い傾向にあるのは、わが国と遠距離であることに加え、一般的に休暇期間が長く、長期滞在を楽しむ傾向が強いためであると推察される。

図表6 国籍・地域別の平均泊数（クルーズ客を除く）

国籍・地域	単位：泊/人							
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国籍・地域	13.6	12.3	11.9	11.7	10.2	10.1	9.1	9.0
韓国	7.9	6.7	6.5	6.0	5.2	4.5	4.3	4.4
台湾	7.6	7.8	6.4	6.8	6.4	7.4	6.7	6.8
香港	5.4	6.2	5.9	5.7	5.9	6.3	6.1	6.3
中国	24.1	19.3	19.8	18.6	12.7	11.8	10.9	9.7
タイ	16.4	17.7	10.3	11.5	11.1	9.9	10.1	8.8
シンガポール	8.4	7.4	7.7	9.6	9.0	8.0	7.7	8.3
マレーシア	20.9	19.8	12.5	12.0	12.3	11.7	9.1	10.2
インドネシア	-	-	-	16.3	17.2	15.0	12.4	12.1
フィリピン	-	-	-	28.6	27.9	28.3	19.7	24.6
ベトナム	-	-	-	48.1	37.7	35.4	35.2	38.0
インド	23.7	23.7	25.5	34.1	27.0	22.8	23.1	18.9
英国	14.9	13.6	12.2	15.0	12.8	12.6	12.2	13.8
ドイツ	13.4	13.6	13.3	12.3	12.1	14.0	15.5	13.9
フランス	15.7	22.1	20.0	15.6	14.8	16.0	15.7	18.4
イタリア	-	-	-	-	13.8	12.8	13.1	15.2
スペイン	-	-	-	-	15.4	14.0	13.4	14.3
ロシア	29.4	22.1	25.1	20.9	21.3	21.1	19.4	17.2
米国	16.7	14.3	15.3	13.8	14.7	14.1	13.8	13.5
カナダ	18.4	13.6	14.7	13.8	12.4	12.8	13.8	12.1
オーストラリア	13.0	13.0	13.4	13.6	12.6	13.2	13.2	13.3
その他	19.9	19.4	26.0	15.4	16.6	18.9	14.7	15.9

平均泊数		単位：泊/人						
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	11.8	10.3	9.0	9.6	8.2	8.0	7.3	6.8
欧米7カ国	16.2	14.9	15.3	14.2	13.9	14.0	14.0	13.9
平均泊数の対前年増減率		単位：%						
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	-	-12.7%	-12.4%	7.0%	-14.6%	-2.2%	-9.5%	-6.9%
欧米7カ国	-	-8.2%	2.7%	-7.0%	-2.0%	0.5%	-0.1%	-0.1%

注1：インドネシア、フィリピン、ベトナムは2014年から調査対象となった。

注2：イタリア、スペインは2015年から調査対象となった。

注3：「東アジア4国・地域」は、韓国、台湾、香港、中国。

注4：「欧米7カ国」は、英国、ドイツ、フランス、ロシア、米国、カナダ、オーストラリア。

注5：「東アジア4国・地域」、「欧米7カ国」の値は浜銀総合研究所が算出。

注6：2018年は「クルーズ客（船舶観光上陸許可者）」の値が含まれていない。

出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」より浜銀総合研究所作成

5. 1人1泊当たり飲食費

2018年の1人1泊当たり飲食費（クルーズ客を除く）をみると、東アジア4か国・地域からの旅行者の加重平均値は4,393円である（図表7）。これに対して、欧米7か国のうち、ロシア、フランス、ドイツ、米国、カナダ、英国の6か国からの旅行者の1人1泊当たり飲食費は、それぞれ東アジア4か国・地域からの旅行者の加重平均値を下回った。一般的に、東アジア4か国・地域からの旅行者の平均的な所得水準は、欧米7か国からの旅行者の平均的な所得水準を下回ると考えられる。東アジア4か国・地域からの旅行者の1人1泊当たり飲食費の水準が欧米7か国の平均値を上回るのは、東アジア4か国・地域からの旅行者の特性として、自国・地域において比較的所得水準の高い階層の割合が高いためと考えられる。また、東アジア4か国・地域からの旅行者は訪日回数2回以上のリピーター（訪日リピーター）の占める割合が高い。東アジア4か国・地域からの訪日リピーターは1人1泊当たり飲食費が高く、日本での飲食に関心が高いと考えられる。

図表7 国籍・地域別の1人1泊当たり飲食費（クルーズ客を除く）

単位：円/人・泊

国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国籍・地域	2,033	2,168	2,354	2,747	3,189	3,120	3,392	3,750
韓国	2,137	2,498	2,963	3,191	3,501	3,966	4,287	4,537
台湾	2,900	2,919	3,614	3,716	4,030	3,596	3,881	4,146
香港	4,844	4,793	5,013	5,570	6,007	5,487	5,431	5,855
中国	1,366	1,613	1,642	2,123	3,331	3,300	3,512	4,122
タイ	2,024	1,311	1,972	2,466	2,590	2,612	2,305	3,152
シンガポール	3,620	3,999	4,460	4,052	4,307	4,363	4,326	4,989
マレーシア	1,701	1,482	2,925	2,342	2,640	2,372	3,106	2,980
インドネシア	-	-	-	1,340	1,612	1,506	1,862	2,410
フィリピン	-	-	-	939	981	937	1,206	1,223
ベトナム	-	-	-	1,130	1,097	1,531	1,231	1,154
インド	1,317	1,394	1,044	1,394	1,360	1,201	1,351	1,800
英国	2,320	2,717	3,232	3,091	3,622	3,271	4,204	4,062
ドイツ	2,424	2,469	2,539	2,755	2,899	2,636	2,518	3,420
フランス	2,252	1,688	2,247	2,928	2,818	2,550	2,867	3,094
イタリア	-	-	-	-	3,562	3,539	3,027	3,803
スペイン	-	-	-	-	3,353	3,507	3,663	4,345
ロシア	1,228	1,581	1,652	1,928	1,629	1,469	2,139	2,549
米国	2,081	2,117	2,572	3,068	2,782	2,918	3,028	3,750
カナダ	2,002	2,448	2,813	2,968	2,934	2,837	3,026	3,923
オーストラリア	3,420	3,066	3,499	3,846	4,201	3,879	3,793	4,427
その他	1,945	1,834	1,231	3,289	2,223	2,216	3,190	3,048

1人1泊当たり飲食費

単位：円/人・泊

国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	1,964	2,269	2,696	2,897	3,709	3,654	3,907	4,393
欧米7か国	2,236	2,262	2,673	3,088	3,058	2,991	3,168	3,757

1人1泊当たり飲食費の対前年増減率

単位：%

国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	-	15.6%	18.8%	7.5%	28.0%	-1.5%	6.9%	12.4%
欧米7か国	-	1.1%	18.2%	15.5%	-1.0%	-2.2%	5.9%	18.6%

注1：インドネシア、フィリピン、ベトナムは2014年から調査対象となった。

注2：イタリア、スペインは2015年から調査対象となった。

注3：「東アジア4国・地域」は、韓国、台湾、香港、中国。

注4：「欧米7か国」は、英国、ドイツ、フランス、ロシア、米国、カナダ、オーストラリア。

注5：「東アジア4国・地域」、「欧米7か国」の値は浜銀総合研究所が算出。

注6：2018年は「クルーズ客（船舶観光上陸許可者）」の値が含まれていない。

出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」より浜銀総合研究所作成

6. 訪日外国人旅行者数

2018年の訪日外国人旅行者数（クルーズ客を除く）は、韓国が753万人、中国が648万人、台湾が449万人、香港が217万人である（図表8）。東アジア4か国・地域からの旅行者数は、訪日外国人旅行者数全体の71.6%を占める。一方、欧米諸国からの旅行者数は、米国が151万人、オーストラリア54万人、英国33万人、カナダ32万人などとなっており、米国以外は100万人未満である。欧米7か国からの旅行者数（合計331万人）は全体の11.5%に留まるが、前年比増加率は9.2%と、全国籍・地域の伸び（同8.7%増）を上回った。

図表8 国籍・地域別の訪日外国人旅行者数（クルーズ客を除く）

単位:万人								
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
全国籍・地域	622	836	1,036	1,341	1,974	2,404	2,869	2,885
韓国	166	204	246	276	400	509	714	753
台湾	99	147	221	283	368	417	456	449
香港	36	48	75	93	152	184	223	217
中国	104	143	131	241	499	637	736	648
タイ	14	26	45	66	80	90	99	113
シンガポール	11	14	19	23	31	36	40	44
マレーシア	8	13	18	25	31	39	44	46
インドネシア	-	-	-	16	21	27	35	39
フィリピン	-	-	-	18	27	35	42	47
ベトナム	-	-	-	12	19	23	31	39
インド	6	7	8	9	10	12	13	15
英国	14	17	19	22	26	29	31	33
ドイツ	8	11	12	14	16	18	20	21
フランス	10	13	15	18	21	25	27	30
イタリア	-	-	-	-	10	12	13	15
スペイン	-	-	-	-	8	9	10	12
ロシア	3	5	6	6	5	6	8	9
米国	57	72	80	89	103	124	137	151
カナダ	10	14	15	18	23	27	31	32
オーストラリア	16	21	24	30	38	45	50	54
その他	58	82	102	82	86	98	110	119

単位:万人								
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	406	542	673	892	1,420	1,747	2,129	2,066
欧米7カ国	118	152	173	198	233	274	303	331

単位:%								
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	65.3%	64.9%	64.9%	66.5%	71.9%	72.7%	74.2%	71.6%
欧米7カ国	19.0%	18.2%	16.6%	14.8%	11.8%	11.4%	10.6%	11.5%

単位:%								
国籍・地域	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
東アジア4国・地域	-	33.6%	24.1%	32.6%	59.2%	23.1%	21.9%	-3.0%
欧米7カ国	-	29.1%	13.3%	14.8%	17.6%	17.8%	10.3%	9.2%

注1：インドネシア、フィリピン、ベトナムは2014年から調査対象となった。

注2：イタリア、スペインは2015年から調査対象となった。

注3：「東アジア4国・地域」は、韓国、台湾、香港、中国。

注4：「欧米7カ国」は、英国、ドイツ、フランス、ロシア、米国、カナダ、オーストラリア。

注5：2018年は「クルーズ客（船舶観光上陸許可者）、233万人」を上記の国籍・地域とは別に集計している

出所：観光庁「訪日外国人消費動向調査」より浜銀総合研究所作成

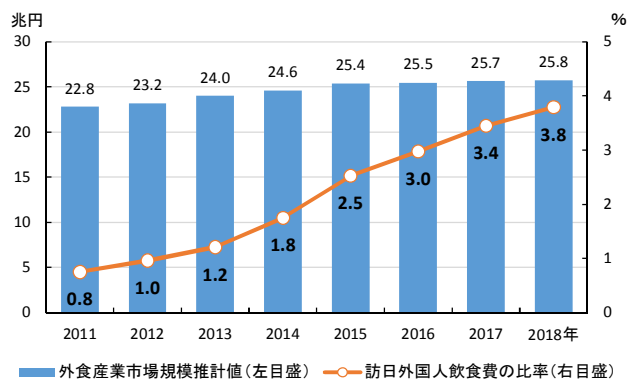
東アジア4か国・地域からの旅行者は（平均的には）、①平均泊数は短い、②1人1泊当たり飲食費の水準が高く、③旅行者数も多いという特徴を有する。これに対して、欧米7か国からの旅行者は、相対的に、①平均泊数は長い、②1人1泊当たり飲食費の水準がやや低い。また、③旅行者数は東アジアの4か国・地域に比べて少ないが、足元の増加率は4か国・地域を上回る。このような国や地域による飲食費の特徴は、休暇に対する考え方や訪日旅行者の所得階層の広さ、旅行目的の違いなどに起因すると考えられる。

7. 訪日外国人による飲食費の増加は、今後、わが国外食市場の下支えに

一般社団法人日本フードサービス協会によると、2018年のわが国の外食産業市場の推計値は前年比0.3%増の25兆7,692億円となった。近年、外食産業市場規模は横ばい圏で推移しており、伸び悩みの状況にある（図表9）。

わが国の外食産業市場規模に対する訪日外国人飲食費の比率は2018年時点で3.8%である。その値は依然として低いものの、上昇傾向にある。この先、人口減少などによりわが国の外食産業の市場規模が伸び悩む可能性がある中、訪日外国人による飲食費の増加がわが国の外食市場の下支え領域となることが期待される。

図表9 わが国の外食産業市場に対する訪日外国人飲食費の比率



出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食市場規模推計の推移」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」より浜銀総合研究所作成

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。